



JIC インフォメーション

第 155 号 2009 年 2 月 10 日

年 6 回 1・2・4・6・9・11 月の 10 日発行

1 部 500 円

発行所: JIC 国際親善交流センター 発行責任者: 伏田昌義

<http://www.jic-web.co.jp>

東京オフィス: 〒160-0004 東京都新宿区四谷 2-14-8 YPC ビル 7F

TEL: 03-3355-7294 jictokyo@jic-web.co.jp

大阪オフィス: 〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-1-22 フェアステージ大手前ビル 5F

TEL: 06-6944-2315 jicosaka@jic-web.co.jp

ロシア・旧ソ連 国際交流誌



＜厳冬のウラジオストク
凍った金角湾＞



ロシアの冬

マイナスの世界を体感してみませんか？

「人的交流を通して見た日本とロシア」

JIC ロシアセミナー講演録 渡邊 雅司・・・2-5P

「ロシア・旧ソ連製旅客機を訪ねて」第 2 回 Tu-154

鈴木 一、平井 伸彦・・・6-7P

「厳冬のウラジオストク訪問記」中林 英子・・・8P

ロシア情報・JIC 講座情報・・・9-11P

ロシア語劇団コンツェルト公演『三人姉妹』報告・・・12P

神戸市外国語大学 語劇祭報告・・・13P

創価大学 ロシア語スピーチコンテスト報告・・・14P

ペンパル情報・JIC 予定・・・15-16P

JIC は頑張る人を応援します！

JIC では、Jクラブ (JIC 友の会) 会員を募集しています。

年 6 回の情報満載のインフォメーションをお届けします。

JIC ロシアセミナー講演録

人的交流を通して見た日本とロシア

渡邊 雅司 (東京外国語大学・教授)



2008 年 11 月 15 日 (土)、東京外国語大学の渡邊雅司教授を講師にお迎えし、JIC ロシアセミナーを開催しました。

セミナーにはロシア語を学んでいる学生さんはもちろんのこと、社会人の方や、昔ロシア語を学んでいた方など、様々な立場や年齢層の方にお集まりいただきました。渡邊先生の講演をぜひ JIC インフォメーションで皆様にもご紹介したいと思います。今回はその前編です。

◇はじめに

本日は、「人的交流を通して見た日本とロシア」というテーマで、明治の初め東京外語の創成期に来日し、ロシア語教師として教鞭をとったレフ・メーチニコフのことを中心にお話したいと思います。メーチニコフは、明治 7 年 (1874 年) 9 月から、その前年に設立された東京外国語学校 (東京外国語大学の前身) でロシア語を教えました。彼の日本滞在はわずか 1 年半に過ぎませんが、その後の日本のロシア学の発展に非常に大きな足跡を残しました。

◇メーチニコフと大山巖の出会い

歴史はさまざまな偶然を通じて展開されるものですが、メーチニコフの来日にも一つの大きな偶然が作用しています。彼は日本に来る前に、あの大山巖元帥、日露戦争で日本陸軍の総司令官を勤めた大山巖とスイスのジュネーブで会っているのです。彼は日本に行くために日本語の勉強をしようとするのですが、当時のヨーロッパにはほとんど日本の情報が無く、唯一日本語学科があったパリ大学のレオン・ド・ロニーという教授のところに行って、日本語を教えて欲しいと頼みます。そしてロニー教授に頼み込んで、ジュネーブに留学で来ているという日本のある大名を紹介してもらう。その大名を訪ねて行ったら、その大名は病気のために帰国したあとで、代わりに留学中の大山巖がいたというわけです。

二人の出会いを、大山巖の回想録で見ると次のようになっています。

「夕景、一人ノ魯西亜人来ル、能ク日本語ヲ解ス、其内ニ同行センコトヲ乞フ、依テ同車ニテ行き、夜八字 (ママ) 帰ル、此人ハ仏ニテ我語ヲ学タリト能ク字ヲ読ム、我モ大ニ便ヲ得タリ、故ニ一字ヅツ互ニ教エルコトヲ約ス」(『元帥公爵大山巖伝』より)

メーチニコフも回想録で大山巖のことに触れています。「私を迎え入れたのは、とびきり洒落たグレーの背広を着込んだ、さほど若くはない紳士だった。彼はばかに大きい唇に喜びの笑みをうかべ、法外なまでに幅の広い顔に、極小の鷹鼻を置き、ニスを流し込んだ二つのほそい隙間といったかっこうの目をしていた。彼の歯の異常な白さと、ちっちゃな手足の優雅さが目についた。ちなみにこれは日本人種の特徴なのだ。彼が何語で話しているかは判じかねたが、私にはこれ以上彼と話してもどうにもならないということだけははっきりわかった。聞きおぼえのある音までが彼の口から発せられると私の耳にはなにかこう奇妙に空ろに響くのであった。それはまるで彼の口のなかに柔らかな綿でも敷き詰められているかのようなだった。」(岩波文庫『回想の明治維新』より)。

とっさのことで大山巖は薩摩弁をしゃべったのかもしれませんがね。それでメーチニコフは何を言われたのかわからなかった。この時に、もう大山巖は 30 歳ぐらいです。彼はその



直前に山縣有朋に手紙を出して、「自分は 30 歳を過ぎてフランス語なんか勉強しだした。しかも日本人のあんまりいないジュネーブを選んだのはいいのだけれど、毎日机に向かって ABC をやっているのに、全然わからない」と、大山にしては珍しく泣き言を並べている。そこへ日本語が少しわかるレフ・メーチニコフが来たわけですから。しかもフランス語がペラペラなわけですから。おそらく助かったのだでしょうね。その証拠に翌日にはもう 220 フラン払っています。メーチニコフにフランス語の家庭教師をしてもらって、そのお返しにちょっと日本語を教えるということなのです。

どんな日本語を教えたのか関心のあるところですが、これがなんと国立国会図書館に資料が残っていました。以前、雑誌に発表したのですが、国会図書館の憲政資料室に「欧州留学中の大山元帥の勉学」というファイルがあったので、それをパラパラ見ていると、中にたくさんのレポート用紙が二つ折りにして入っていました。その他に単語カードが 1000 枚ぐらいあって、きれいな字で書いてある。レポート用紙の左側にフランス語の単語や例文があって、右側にもフランス語があるのですが、よく見ると右側はフランス語ではないの

です。左側のフランス語の意味をフランス語綴りで日本語に訳したものです。たぶん今までの研究者は、「ああ全部フランス語だからもういいや」と全然使わなかったのでしょうか。私はたまたまフランス語が少しできるから読んでみたら、何のことはない日本語なんですよ、右側は。しかも欄外には「2 回終了」とか「完璧」とか鉛筆で書いてあります。つまり彼らの勉強法というのは、こういう例文と単語をフランス語と日本語で並べて一生懸命に覚えて、お互いに問題を出し合ったのでしょうね。

このようにやれば、メーチニコフは当時すでに 13 の言語が出来ますから、あっという間に日本語がわかるようになります。彼はこの日本語の力で、驚くなかれ、後にジュネーブで岩倉使節団に会い、日本の政府高官たちと親密な交友を結ぶことになるのです。岩倉使節団は知っていますか？ 明治 4 年から 22 ヶ月にわたって世界中を歴訪した日本の使節団です。岩倉具視を正使に、木戸孝允、伊藤博文、大久保利通らが副使、総勢 50-60 人の日本政府代表団が維新後の新しい日本の国づくりの手がかりを得るために、2 年近くかけて世界中を視察して回るわけです。その岩倉使節団が最後に立ち寄ったのがジュネーブなのです。

◇革命家・メーチニコフ

さて、このレフ・メーチニコフ(Lev Mechnikov, 1838-1888)という人物ですが、日本でもヨーロッパでもほとんど知られていません。

彼は革命家です。高名な革命家で、その経歴を聞いたら皆さんびっくりします。彼が親交を結んだ人たちの中には、歴史上有名な人物、皆さんがよく知っている名前がたくさん出てきます。

そもそもメーチニコフはなぜ日本に来ようとしたのか。彼は革命家で、19 世紀の様々な革命に参加しているのですが、最後に参加したのが 1871 年のパリコミュンです。パリコミュンというのは世界初の労働者政権ができた有名な事件です。このパリコミュンを各国の亡命労働革命家が随分支援するのですが、その一人にメーチニコフもいたわけです。ところが、パリコミュンは敗北し、その後ヨーロッパ政治は非常に反動的な方向に向かいます。そのような中で、メーチニコフは極東の島国、日本で革命が起きたというニュースを知るのです。ちょっと時間がずれていますが、明治維新は 1868 年に起こっています。しかし、明治 2 年くらいまでは内乱が続いていて、おそらく遠いヨーロッパからみると、はっきりいつ革命が起きたのかわからなかったのではないかと思います。それを新聞で知る。そこで、ヨーロッパの反動的な空気がたまらなくなっていたメーチニコフは、矢も盾もたまらず日本に行きたくなって、日本語の勉強を始めたのです。

＜若いときから血気盛ん、語学と絵の達人＞

メーチニコフと日本との関係に入る前に、パリコミュンまでの彼の足跡を簡単にたどっておきましょう。レフ・イリイチ・メーチニコフは 1838 年に現在のウクライナ、ハリコフに生まれます。先祖はモルダヴィア出身の大貴族で、曾祖父はピョートル大帝の家庭教師をしたという、たいへんな名家の出です。メーチニコフという名前は、ロシア語で「メーチ」とは「剣」のことですから、つまり「剣を持つ人」。日本語で言えば「剣持さん」という姓になります。そういう貴族の末裔です。

彼はハリコフ大学に入るのですが、若いときからとにかく血気盛んな男で、15 歳の時にクリミア戦争が起きると鉄砲を担いで義勇軍に行こうとしたり、あるいは、メーチニコフ家の先祖はモルダヴィアの王位を奪おうとして追放になったのですが、それを聞いたメーチニコフは王位を奪いかえすためにナイフを持って単身モルダヴィアに行こうとしたくらい冒険家なんですね。



だから大学で勉強していてもなかなかじっとしていられない。学内で事件が起こればすぐに、いわゆる学生運動に加わってしまう。ハリコフ大学は 1

年で放校になり、その後ペテルブルク大学に入るのですが、そこも放校になります。それでどうしたかというと、彼は絵がとても好きだったので芸術アカデミーでしばらく絵の勉強をします。同時に東洋学部でアラビア語とトルコ語を勉強しました。ただの活動家ではないのです。革命運動に携わるけれども、語学と絵がとっても好きだった。そして驚くなかれ、1 年後には彼は政府の通訳官としてパレスチナに行っています。しかし、パレスチナで自分の上司と決闘騒ぎを起こしてクビになり、中近東を半年くらい放浪するのです。その後、これではいけないということで、イタリアに行って絵描きになろうと思い、彼はパスポートもなしにヴェネツィアに潜入する。

＜ガリバルディ軍の副司令官に＞

時は 1860 年。ヴェネツィアではリソルジメント(Resorgimento)と呼ばれるイタリア統一運動の真っ最中でした。有名なガリバルディ(Giuseppe Garibaldi, 1807-1882)が千人隊(赤シャツ隊)を組織して、シチリア王国を征服したのが 1860 年です。メーチニコフはこのガリバルディの千人隊に飛び込んでしまう。そこで彼は義勇軍を組織して各地を転戦し、ガリバルディ軍の副官としてナポリ(シチリア王国の首都)の開城にも立ち会います。ところがその直後の戦闘でダイナマイトの爆発で腹部と右足の踵を負傷してしまう。以後、彼は終

生右足が不自由で松葉杖と義足で過ごしました。面白いことに、彼がこの怪我で野戦病院に入っている時に、あるロシア語を喋る使者がやって来て、実はうちの主人があなたに関心を持っているから、主人のお城に来て療養しないかと言われる。その主人というのが、あの「三銃士」や「モンテクリスト伯」を書いたアレクサンドル・デュマ(Alexandre Dumas, 1802-1870) なのです。どうやらデュマは、このメーチニコフという風変わりなスラヴ人をモデルにして冒険物語が書きたかったらしい。というのも、当時の義勇軍というのは様々な国の人が入っていて、お互いに言葉が通じないのです。メーチニコフは、英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポーランド語、トルコ語、アラビア語など、すでに 13 ヶ国語ができましたから、全ての言葉を通訳でき、しかも休み時間には兵士たちのポートレートを描いてやっていたということが大変評判になっていたらしく、それがアレクサンドル・デュマの耳にも入ったのです。しかし、結局彼はデュマの申し出を断り、療養生活のあとフィレンツェに移り住みます。このフィレンツェで彼はロシアの亡命革命家たちとの親交を結ぶのです。

＜ゲルツェン、バクーニンらとの亡命活動＞

1863 年にアレクサンドル・ゲルツェン(Aleksandr Gertsen, 1812-1870 ナロードニキ主義の祖とされるロシアの革命思想家)を招いてフィレンツェで開催されたポーランド蜂起支援集会で演説したメーチニコフは、ゲルツェンと知り合います。そして 1864 年には、フィレンツェに革命の巨人ミハイル・バクーニン (Mikhail Bakunin, 1814-1876)、あのアナキストのバクーニンが帰ってくるのです。バクーニンはマルクスと同時代の革命家です。彼は 1849 年にウィーンで捕まって、ツァーリロシアに送られ、シベリア流刑に処せられます(1857 年)。ところが当時のシベリア総督というのがバクーニンの従兄弟なのです。だから、『お前逃がしてやるよ、アメリカ船が来るから、その貨物船に乗って逃げろ』ということで、シベリアから脱出して、日本の横浜に来ます。バクーニンは幕末(1861 年)の横浜に 1 ヶ月いたのですよ。それから函館経由でアメリカに逃れて、ヨーロッパに帰ってきた。当時は幕末です。面白いはずなのにバクーニンは日本について何ひとつ記録を残していない。そういう意味では、革命家バクーニンの目はヨーロッパだけを見ていたのかなと思います。

メーチニコフはフィレンツェで、バクーニンの世話をいろ

いろするわけですが、ひとつすごいエピソードがあります。この頃、ポーランドではロシアの圧政に抵抗して民族蜂起が起きています。1863 年 1 月のポーランド民衆蜂起は有名で、抵抗運動は翌年 4 月まで続く。これを機にロシア国内では非常に愛国主義が高まっていきます。それまでロシアでは 1861 年の農奴解放を受けて、放火事件や大学紛争など革命的な動きが高まっていたのですが、ポーランド蜂起はそうした動きを圧殺するかっこうの材料とされたわけです。ドストエフスキーなんかも当時の革命家たち、ニヒリストたちを批判して愛国主義的な運動に巻き込まれています。そういう時期にポーランドの革命家たちはみんな、伝説的な革命家であるバクーニンのところへ亡命してくる。バクーニンのところへ来て、『どうか自分達を助けてほしい』と訴える。『ついでに地中海にいるガリバルディ(彼は当時すでに引退していたのですけれども)、このガリバルディの地中海艦隊を動かしてくれないか』、『地中海艦隊で黒海に入り、オデッサに上陸



して、ワルシャワ目指して駆け上り、革命政権を打ち立てるんだ』、というわけです。その仲立ちをしたのが、かつてガリバルディ軍にいたメーチニコフなのです。彼はさっそくガリバルディの隠棲してい

るカブレラ島に行き、ガリバルディの了解を取りつけます。ところが、船がジェノバから出港しようとしたその夜に警察に摘発され、出港できなくなって、この壮大な計画は未遂に終わるのです。ですから歴史には残っていないのですが、もしこれが実現していたらとんでもないことですね。ポーランドの革命にロシア人のバクーニンがイタリアのガリバルディを動かして攻め上がるという、当時の革命運動がこれほどの国際的連帯を見せていたという一例として知っておいてほしいことです。これはどの歴史書にも書いてありません。でもそういうことが起こり得たのです。メーチニコフがその仕掛け人だったと言えると思います。

このあと彼はナロードニキ運動の先駆者であるゲルツェンの住むジュネーブに移り住み(1865 年)、いわゆる「若き亡命者」グループに加わります。当時はジュネーブがロシア人亡命者たちのコロニーになっていて、ゲルツェンはその中心人物だったわけです。その間も、メーチニコフはある新聞の特派員の資格で、当時動乱状態だったスペインに半年間ほど入り込んでいます。スペインというのは、いまだにアナ



一キズム、特にバクーニン派が強いのですけれども、おそらくこれはメーチニコフの功績だろうと思います。さらにはモンテネグロで民族解放運動があるとそこにも参加している。こうした流れの中で彼はパリコミューンの支援活動にも加わり、そこで日本で革命が起きたことを知ったのです。以上見ただけでもメーチニコフは革命家としてすごい経歴をもっているということが分かります。その彼がこともあろうに日本の革命(明治維新)に関心を持ったというわけです。

＜まずその国の言葉をマスターするという哲学＞

レフ・メーチニコフが偉いのは、自分がどこかの国とか民族、国情を研究するためには、その国の言葉を絶対マスターしなくてはならないというプリンシプルを持っていたところなんです。だから日本に行くについてもまず日本語を勉強しようと、パリ大学日本語科のロニー教授を訪ねます。このロニー教授の紹介で偶然、大山巖に巡り会ったわけですが、つまり、まず強烈な意志があるわけです。意志の力がなければ普通は諦めてしまうでしょう。今なら飛行機に乗ればすぐ行けますが、当時日本に来るのには船で 50 日かかるんですからね。しかも彼は亡命者でお金を持っていません。日本

にツテもない。日本に着いてもどうやって食っていくかわからない。仕事があるわけではない。しかし、『矢も盾もたまらずに行きたい』という強烈な意志、これがやっぱり一番大事です。だからもし皆さんもロシアに留学したいと思ったら、行きたいという気持ち、これを大事にしないといけない。それがなかったら行かなくてもいいと思います。そういう強い意志があれば、運が開けてきて困難もなんとかなると思います。

渡邊先生の講演の後編は、次号のインフォメーションで紹介する予定です。お楽しみに！

また、講演会の後には、実際に留学を考えている方や、JIC のロシア語講座に関心をお持ちの方に会場に残っていただき、説明会を行いました。JIC のスタッフがスライドを利用して JIC 留学の特徴を説明し、そのあとは個別相談の時間をつくりました。熱心に質問をしてくださる方が多く、こちらも一生懸命お答えいたしました。

今回参加できなかった方も、JIC 東京、大阪の各オフィスで個別相談を受け付けています。お気軽に電話やメールなどでご相談ください！

JICモスクワ通信Vol.14 地下鉄チケット物語

モスクワにいらしたことがある方は、きっと一度くらいは地下鉄をご利用になったことと思います。世界でもっとも利用客の多い地下鉄の一つであり、世界でもっとも美しい駅の地下鉄の一つでもあります。今回は、地下鉄のチケットについてお話したいと思います。

モスクワの地下鉄は日本と同じように、入口に改札機があります。改札に入る前に、チケット売り場(ロシア語で「カッサ」と言います)に行きます。チケットのタイプはいろいろあり、例えば1回チケットは、改札に入って地下鉄に乗って改札を出るまで有効のチケットです。地下鉄は朝 5 時半ぐらいから運行しています。5 時半に1回チケットで地下鉄に乗り、地下鉄の運行が終わる夜中の 1 時くらいまであちこち行ったり来たりしても構いません。改札を出るまで、モスクワ地下鉄のどこまでもいけます。モスクワ地下鉄の地図をご覧いただければ分かります。駅は中心部に密集していますが、モスクワのはずれでは放射線ばかりになっていますので、たとえばモスクワの南部から南西部へ地下鉄で行くときは、どうしても中心部を経由しなければなりません。つまり、地理的に近いところへ行く場合でも結構時間がかかります。そのため、モスクワ地下鉄の料金は距離には関係ありません。そし

て、地下鉄駅を出るときも改札はありますが、チケットを入れるところはありません。改札を素通りします。

現在は1回チケットは 22 ルーブル(60 円ぐらい)です。2 回チケットはその 2 倍の料金ですが、5 回チケットは 105 ルーブルです。5 回チケットを買った場合、1 回あたりの料金は 21 ルーブルになりますね。回数が多いチケットほど1回の料金は安くなります。60 回チケットは 865 ルーブルなので、1 回は 14.5 ルーブルぐらいですね。チケットは 1 人用ではなくて、何人かが共同で利用してもいいです。1 人が改札を通ったあと、チケットを次の人に渡せばいいわけです。そのほかに、30 日間定期券が存在します。乗車回数に制限はありませんが、30 日たつと利用できなくなります。その定期券の場合、1 度改札を通過してから7分たつまで次の利用はできません。定期券には、90 日間定期券、365 日間定期券などがあります。もちろん学生は、学生証でより安いチケットを購入できます。現在その値段は 255 ルーブル(730 円ぐらい)です。また、最近のチケットのほとんどは、改札機に入れるタイプではなく、触れるタイプになっています。チケットがあと何回使えるかを調べることができる特別な情報ターミナルも設置されるようになりました。



現在はチケットやカードを利用していますが、昔はメダルがチケット代わりでした。日本の 5 円玉のような感じです。(JIC モスクワ トカチェンコ・ドミトリー)

ロシア・旧ソ連製旅客機を訪ねて

～第2回 ツポレフ Tu-154～

鈴木 一・平井 伸彦



前回は、ヤコブレフ Yak-40 を紹介させていただいたが、今回は旧ソ連製の旅客機の中で最も有名と思われるツポレフ Tu-154 のフライトの様子を紹介させていただこうと思う。Tu-154 の生産機数は 1000 機近く、今もウラジオストク航空の定期便・季節限定便として、新潟、関空、北九州などに時折飛来する。最近では内装の入れ替えもされており、一部の航空会社では、座席の表を張り替えて、見た目だけでも西側の機材に近づけようという努力の跡が見られる。Tu-154M 型であれば、EU 加盟国や日本の要求する騒音規制に適合しており、当分は乗り入れ可能である(ちなみに大半の旧ソ連機は不適合で、2002 年以降 EU、日本への乗り入れは特別機などを除き禁止されている)。旧ソ連だけでなく東欧や中国、北朝鮮の航空会社でも使用された実績がある。



<ロシア航空の Tu-154>

もっとも、東欧や中国の航空会社からは 21 世紀を前に退役してしまったが、それらの機体は大半がロシアや旧ソ連諸国の航空会社に売却され、現在も活躍を続けている。一方、すでにウラジオストク航空や S7(シベリア)航空などは、後継機を導入して退役させ始めており、イランなどの航空会社へと売却されるケースも存在している。設計は古い、生産は 2001 年(2006 年という説もある)まで続いたため、恐らくロシアや旧ソ連諸国では、最後まで見ることができる旧ソ連製旅客機であろう。

～第 2 回 ツポレフ Tu-154～

2008 年 10 月 11 日 ロシア航空 FV188 便、モスクワ・ドモジドヴォ空港→サンクトペテルブルグ・プルコヴォ空港

日航の B777 は、定刻にモスクワ・ドモジドヴォ空港に着陸した。3 月の極東ロシアで Yak-40 に 1 回乗っただけになってしまったので、事実上のリベンジに、今度はモスクワまでやってきた訳である。ドモジドヴォ空港に留め置かれた旧ソ連製の旅客機 ―そのうちの大半はすでに飛ぶことができないようだが― に興奮しつつ、入国審査ブースへ。何も聞かれず、かなり拍子抜け。空港ターミナルも西側グレー

ドに作られた、ロシアとは思えない国際空港であった。昨今、シェレメチェヴォ空港から乗り入れ空港を変更する航空会社が多いそうだが、これなら納得である。荷物もあつという間に出てきて、すぐに引き取って通関完了。モスクワに着いて

1 時間後には、すでに国内線の出発ロビーに居た。前回のウラジオストクでは入国審査に 1 時間以上かかったので、そういう意味でも西側グレードである。

FV188 便のチェックインを済ませようとしたが、21 時 35 分の出発まで 5 時間近くある。チェックインもまだ始まっていないようで、しばらく出発ロビーの飛行機が見られるエリアに行き、飛行機を眺めていた。Tu-154 と共に、すでに日本や EU に乗り入れできなくなった Tu-134 や、日本ではめったに見られないヤコブレフ Yak-42 も結構使われている。同時にロシアの航空会社の西側機も多く、S7 航空のエアバスやトランスアエロの B737、B747、B767 などが目立つ(余談だがトランスアエロの B747 の一部は元日航機である)。午後 6 時を回ったところで外が見えなくなったので、チェックインカウンターへ。今度は「FV188 St. Petersburg」と表示が出ていた。荷物を預けて搭乗券を受け取る。JIC 旅行センターで予約してもらった時は、Tu-154 を使うと表示されていたが、最近ではロシア航空もエアバスやボーイングの機体を導入しており、しかも座席数によっては突発の機材変更も平然と行われるので、今日もゲートに行くまで分からない。



<Tu-154 機内>

空港の中でピザとコーヒーの夕食を済ませ、1 時間分の Golden WiFi の接続カードを買

って PC でメールチェックなどを済ませるうちに 2 時間くらい過ぎてしまった。これでもまだ出発時間まで 1 時間 30 分もあるが、いよいよすることがなくなってしまったので、セキュリティチェックを通過した。通常の金属探知機ではなく、X 線のような、なんだかよく分からない機械で調べられるのが不気味ではあったが、無事通過。ゲートに行ってみると、ロシア

航空の塗装を纏った Tu-154M が止まっていた。とりあえず 1 便目は無事旧ソ連機に当たったようだ。

ショップを覗いたり、水を買ったりしているうちに搭乗開始になった。登録番号は RA-85658。この機体、実は 1990 年の冬に、名古屋空港で撮影している。アエロフロート・ソ連航空の極東ロシア路線で常連だった機体で、その後見かけなくなったと思ったら、こんなところで飛んでいたらしい。実に 18 年ぶりの再会である。

機内に入ると、ベテランらしい乗務員ににこやかな笑顔で迎えられる。3 月のウラジオストク航空でも感じたが、客室乗務員の愛想はこの 15 年で格段に良くなったと思う。久しぶりに乗った Tu-154 は、油の臭いが結構する。実はこの油の臭い、この機体だけで、その後 2 回乗った Tu-154 では全くしなかったのが、多分整備直後か何かだったのだろう。

定刻前に搭乗が完了したようで、定刻前に扉が閉まった。機内アナウンスが入り、ロシア語に続いて英語のアナウンスも入れられた。さすがにこの路線であれば、外国人の搭乗の可能性は高いからだろう。地上支援車に押されてゲートを出たところでエンジンがかかる。Tu-154M 特有の甲高いエンジン音が聞こえてくる。空港内をゆっくりと地上走行し、ターミナルから誘導路を通って滑走路に向かう。S7 航空のエアバスが離陸するのを待って、エンジンを目一杯ふかして離陸。やはり Tu-154 は旧ソ連製。離陸の上昇角度は低い。

巡航高度に達するとシートベルトサインが消灯された。機内サービスはまずドリンクから。3 月に乗ったハバロフ



＜シートベルトサイン＞

スク～ウラジオストクとほぼ同じ距離だったので、これで終了だと思っていたら、客室乗務員が別のカートを引きいて来た。どうもロシア屈指の競合路線らしく、ボックスに入った機内食が配られた。サンドイッチ、何種類かのお菓子と、ロシアらしくヨーグルトが入っていた。ちなみに、復路のサンクトペテルブルグ～モスクワではドリンクと機内食は同時サービスだったので、恐らくこの便は空いていたこともあって、サービスを分けたのであろう。新潟～ウラジオストクの国際線と同じレベルの機内食で、距離や航空券の値段を考えると、明らかにこちらの方が勝っている。いったい 3 月のウラジオストク航空は何だったのだろう？



機内食のボックスが下げられると、さすがに眠気を感じる。日本時間はすでに午前 3 時を過ぎている。起きたのが 6 時だったから、ほぼ徹夜をしているのと同じ状態になっている訳だ。程なく、シートベルト着用のサインが点灯。高度が下がっているのが分かり、「間もなくサンクトペテルブルグに着陸」とのアナウンスが入った。定刻 23 時にサンクトペテルブルグに着陸。

到着後、コックピットの見学をさせてもらえることになった。15 年前、IL-62 のコックピットに入れてもらったことがあるのだが、それ以来の旧ソ連製旅客機のコックピット見学になった。計器のパネルが並んだコックピットは、やはり 2 世代前の旅客機だが、今時の液晶ディスプレイだけで構成されたコックピットよりも随分味がある。

ロシアの航空会社の場合、慣例的に機長、副操縦士、航空機関士、航法士の 4 名乗務で、以前はこれに通信士まで乗って 5 名乗務だったそうだ。あの狭いコックピットに 5 人も乗っているというのが驚きだが、旧ソ連機退役の裏には、人件費もかかりすぎる、と言うことがあるようだ。



バスに乘せられてターミナルビルへ。荷物が出てくるまで 1 時間近くかかったのは、やはりここはロシア、と言うことであろうか。

＜続＞

＜ツポレフ Tu-154 ＞

1968 年に開発された中距離用の 3 発のジェット旅客機で、1971 年から路線就航している。2001 年の生産終了までに約 1000 機が生産され、旧ソ連や東欧、中国の航空会社で使用された実績がある。改良型の A 型、B 型、B-1 型、B-2 型、M 型が存在しており、エンジンやコックピット計器などに差異がある。騒音規制のため、現在日本や EU に乗り入れできるのは最後期型の M 型のみになっているが、ロシア国内線や旧ソ連諸国内では B-2 型も数は少なくなったが活躍が続いている。

新潟から 1 時間半、ヨーロッパなのかアジアなのかとウラジオストクの地に足を踏み入れると不思議な感覚になります。ユーラシア大陸

の大部分を占めるロシア、ヨーロッパとアジアをまたぐ国だから当然だと思われるかもしれませんが、今のモスクワやサンクトペテルブルグとも異なった雰囲気を持っています。ウラジオストクにはレーニン像が未だ撤去されずに立っていて、ソビエト時代を思わせる風貌も残っていました。天気によって変化する海の色、街の印象、海風の匂い…。日本で例えるなら、洋館が立ち並ぶ異国情緒あふれる港町函館市に似た街だと思いました。



私が初めてウラジオストクを訪れたのは 1998 年 4 月。ロシアの春は雪解け水で足場がぐちゃぐちゃなのですが、初めてロシアの地を踏むにはいい時期だったのかもしれません。太陽が降り注ぎ、春を通り越して、夏のような日もあれば、日本の真冬のように寒い日もあり、短期間で小さな四季を感じ、ウラジオストクの幾つもの顔が見られたからです。

前回の滞在は 1 ヶ月間と長かったのですが、今回は 3 泊 4 日の短い期間でした。しかしロシアの冬の自然に触れるという体験しました。ウラジオストク郊外にルキャノフカ村という村があります。案内してくれたガイドさん曰く、将来的にはウラジオストク近辺のリゾート地にしたいところだそうです。

ウラジオストクは 1992 年まで外国人及び、一般ロシア人の立ち入りが禁止されていた為、観光産業は駆け出しといった感じで、まだ、外国人が旅行に来て開放的な気分になるような場所ではないですが、これから力を入れていこうというのが伝わってきました。シベリア鉄道の始発地ということもあり、気分良く旅立ってもらえるようにと、欧米並みのサービスの提供を心掛けるホテルや、親切で気の利いたガイドの案内などが印象的でした。

ウラジオストク市を出ると、道路両側には延々と林が続きます。車を走らせること約 3 時間、いくつかの小さな平屋建てが見えてきて、ルキャノフカ村に到着しました。森林の中に丸太を積んで建てられた、おもちゃの家のようなかわいらしいコテージが数軒あり、これを貸し切り、ロシアのダーチャ(別荘)生活を楽しむことができます。ただ、ロシアのダーチャというと家庭菜園付きのイメージもあるのですが、ここは将来、リゾート地になるであろうところなので、生活感はありません。日本でいうなら休暇村といった感じでしょうか。

コテージには、ベッドのついた宿泊用コテージとサウナ用コテージがありました。ところで、ロシアのバーニャをご存じ

厳冬のウラジオストク訪問記

JIC東京 中林 英子

でしょうか？バーニャとはサウナ室で、隣の部屋に軽くお茶が飲めるダイニングのようなリラクゼーションスペースがついています。ロシアのサウナは一般に日本にあるサウナより低温と言われ、白樺の枝でバシッバシッと背中を叩き、血行を促します。これを何回か繰り返すというのがロシア式サウナだそうです。サウナから出てすぐに、雪の中に飛び込むようなことは絶対しないようにと言われました。徐々に体を冷やしていかないと心臓に負担がかかるからです。サウナを出た後は、寒さで固まった筋肉がほぐれて、体も芯から温まり、リフレッシュできます。温まった体でマイナス 10 度以下の森林の中を散歩するのは、それほど辛いものではありません。



マイナス 10 度以下の世界というのは、すべてが浄化されたように、空気が澄んでいて気持ちのいいものです。天気のいい日であれば、凍った水蒸気がキラキラ輝き、絵に描いたように美しい情景を目にすることができるよう。

今回のウラジオストク訪問で、渡航前最も不安であり、渡航後予想以上に満足したのが、ウラジオストク航空の帰国便、ウラジオストクー富山間の便でした。機種はソ連製ヤコブレフ 40、座席数は 2×2 席の 7 列で、観光バスよりも小さな飛行機です。パイロットもキャビンアテンダントも一般の搭乗者と同じところから乗り込みます。座席も狭く、すごく小さな飛行機なので、どんなに揺れて轟音がするのかと出発前から初めて飛行機に乗る時のような緊張感を持って離陸を待ちました。

XF839 便、11 時 30 分定刻通り離陸。いつ離陸したのかと思うほど静かでした。上空でも全く揺れません。機内は多少古めかしいのですが、乗客は 15~16 人で、ゆったり座れて専用ジェットに乗っているようでした。機内サービスを受け、窓に顔をつけるようにして雲を見ているうちに、機体は地上に着いていました。いつ着陸したのかと思うくらいスムーズでした。ロシアのパイロットの技術は素晴らしいというのは確かです。ロシア系航空会社の飛行機に乗ると着陸時に拍手が起こることがよくあります。これは無事着陸したという拍手ではなく、機長に対する感謝の気持ちを込めた“ありがとう”拍手だと聞いたことがあります。私も“Спасибо”の気持ちを送りたいくなりました。

-終-

JIC のロシア語講座

4 月から 2009 年度前期のロシア語講座がスタートします！
東京クラス・大阪クラスとも、アルファベットからはじめる入門
クラスがありますので、ぜひ今年はロシア語にチャレンジし
てみませんか？

東京クラス 4月6日(月)から順次開講 前期全17回

入門(月)	初心者の方対象。アルファベットから始めて 1 年間かけてロシア語文法を勉強します。
初級(火)	ロシア語のやさしい読み物を使って、ロシア 語や会話に慣れていきます。
中級(水)	文法の教科書を使って、身近な出来事を題 材に、ロシア語の表現力を高めていきます。
文学講読 (木)	小説を中心に読みます。学習歴 3 年程度以 上のロシア語力の方対象。
時事会話 (金)	新聞・ニュース・物語などを読みながら総合 的なロシア語力を高めます。
使える会話 ①(土)	ビデオを用いて、街歩きでよく使うロシア語を 勉強しましょう。上級の方対象。
使える会話 ②(土)	ビデオを用いて、街歩きでよく使うロシア語を 勉強しましょう。初級～中級の方対象。

受講料: 17 回 51,000 円 (複数講座同時受講割引あり)

時間: 月～金 19:00-20:30

土曜日①10:45-12:15 土曜日②12:30-14:00

定員: 1 クラス 4～8 名程度

会場: 国際親善交流センター 東京オフィス (東京・四谷)

詳細お問合せ・お申込は・・・JIC 東京へ

TEL: 03-3355-7287 E-mail: jictokyo@jic-web.co.jp

大阪クラス 4月13日(月)から順次開講 前期全15回

入門(火)	アルファベットから学ぶ初心者のためのクラ スです。
初級(木)	文法を学びながら、単語だけでなく文章で の会話にチャレンジしていきます。
中級(金)	読み物などを使って会話のバリエーション を増やしましょう。表現力もつけます。
上級(月)	文法、語彙力、会話力のある方へ。自分の 意見をロシア語で言えるように訓練します。

受講料: 15 回 35,000 円 (学割あり)

時間: 各クラス 19:00-20:30

定員: 1 クラス 5 名以上

会場: 国際親善交流センター 大阪オフィス (大阪・天満橋)

詳細お問合せ・お申込は・・・JIC 大阪へ

TEL: 06-6944-2315 E-mail: jicosaka@jic-web.co.jp

ロシア語で教える日本語講座

東京クラス 4月初旬より順次開講 2学期制

Вводный, начальный, продвинутый курсы
японского языка

Преподавание на русском языке!

授業日: 毎週火曜・金曜の週 2 回

ほか、受講料・時間・開始日等詳細については JIC 東京ま
でお問い合わせください。

TEL: 03-3355-7287 E-mail: jictokyo@jic-web.co.jp

2008 年 12 月 13 日 (土)、JIC 東京の日本語講
座、ロシア語講座合同のクリスマスパーティーを
開きました。ペリメニ・ブリヌイ (いずれもロシアの
伝統料理) 持参の参加者、サックス演奏を披露し
てくださった参加者も。色々な商品が用意された
ビンゴゲーム也大盛り上がりでした！

さあ、今年はぜ
ひ「ロシア語」をは
じめませんか？
楽しみながら、学
びましょう！！



★★ JIC ロシアツアー情報 ★★

3月だけのチャンス！！

ロシアにいちばん安く行けるこの時期に
さらに JIC スペシャル料金を出しました！

～2 都市をめぐる！シベリア鉄道にも乗れる！

① ウラジオストク・ハバロフスク 4 日間

¥99,000 円 !!

～わずか 90 分でいけるロシア極東の港街！

② ウラジオストク 4 日間

¥96,000 円 !!

～おしゃれなヨーロッパ的雰囲気漂う内陸の街！

③ ハバロフスク 4 日間

¥79,000 円 !!!

****すべて燃油サーチャージ込み価格！****

詳細は JIC ホームページをご覧ください。

<http://www.jic-web.co.jp>

ロシア情報



遠藤貴也写真展

「ヒステリア・シベリアカ」

期日 2009 年 3 月 20 日(金)～4 月 12 日(日)

開館時間 12:00～19:00 期間中無休/入場無料

会場 UP FIELD GALLERY

東京都千代田区三崎町 3-10-5

原島第 3 ビル 304 (JR 水道橋駅より徒歩 3 分)

お問合せ先 UP FIELD GALLERY 03-3265-0320

<http://www.upfield-gallery.jp/>



2005 Lake Baikal © TAKAYA ENDO

遠藤貴也(ENDO TAKAYA) 写真家

1966 年東京生まれ。雑誌、広告、CD ジャケット、書籍等で人物写真から風景、建築写真まで幅広く活動。

ハバロフスク、トゥバ、サハ、ブリヤートなどシベリア各地を旅して出会った風景約 40 点。圧倒的なパースペクティブと精緻な色彩感覚に満ちた、新たなシベリアの世界！！

JICのホームページを
チェックしよう！

<http://www.jic-web.co.jp>

JICは頑張る人を応援します！



旧ソ連関係のイベント案内掲載をご希望の方は JIC までご相談ください。イベント時期の約 2 ヶ月前に情報をお送りください。JIC インフォメーションの発行は、1・2・4・6・9・11月の6回です。

掲載内容が JIC の活動に合わない場合はお断りする場合がありますのでご了承ください。

ボリショイ・オペラ

～14年ぶり。進化した世界の名門

チャイコフスキー×プーシキン。ロシア最強の組み合わせによる 2 大傑作オペラが来日！

歌劇「スパードの女王」

日時 2009 年 6 月 19 日(金)18:30～

6 月 20 日(土)、21 日(日)14:00～

会場 東京 NHK ホール



歌劇「エフゲニー・オネーギン」

日時 2009 年 6 月 24 日(水)、25 日(木)、26 日(金)

いずれも 18:30～

会場 東京文化会館

チケット料金 S¥42,000 A¥37,000 B¥32,000 他

(1 演目当たりの一般料金 2 演目セット券もあり)

主催 朝日新聞社 ジャパン・アーツ

後援 ロシア大使館 日露音楽家協会

お申込 ジャパン・アーツぴあ 03-5237-7711

詳細はこちらで・・・ <http://www.japanarts.co.jp/>

世界のトップ・バレリーナ

ザハーロワのすべて

ボリショイ・バレエのスター達を迎えて実現！古典作品では知ることのできなかった新しいザハーロワ。

<神奈川会場>

日時 2009 年 4 月 29 日(水・祝)16:00～

会場 神奈川県民ホール



<東京会場>

日時 2009 年 5 月 1 日(金)18:30～

5 月 2 日(土)18:00～

5 月 3 日(日)16:00～

会場 東京文化会館

チケット料金 S¥16,000 A¥13,000 他

主催 朝日新聞社 ジャパン・アーツ 他

お申込 ジャパン・アーツぴあ 03-5237-7711

詳細はこちらで・・・ <http://www.japanarts.co.jp/>



図書紹介

『アネクドートに学ぶ 実践ロシア語文法[CD付き]』 さとう好明著 東洋書店



以前から「勉強しないと…」と思いつつも重い腰が上がりず、全くやる気が起きないでいたおり、「この本を読んでみて」と渡された。

正直、面倒臭いなあ、でも何もしないよりは少しは勉強になるかな、という感じだった。これまでは文法書・参考書を開くときは、必ずあの重たい辞書をそばに用意して・・・というのが決まりだった。なので、この本も読むからには本腰で挑まないといけないうのか・・・とうんざりしていた。が！最初から適当な気持ちで挑んだ(ページをめくった)のが良かったのか？それともこの本がうまく出来すぎているのか？適当にめくったところから読み始め、数ページ過ぎたところで気付いた。「これ、読むのに辞書要らないかも」と。

普通に読める。頭の固い私でも辞書なし・解説だけで理解し、読み進むことができることに感動すら覚えた！解説は簡潔丁寧なので理解しやすい。ロシア語には全てアクセント表記がある。ただやはり、初級者向けというより、かなり学習経験はあるが今はもうかなり忘れてしまった、という人にお勧めだと思った。

アネクドートもなかなか厳選されており、アネクドートの中で沢山のロシア語らしい表現や言い回しを見つけた。それらは自分がかつてロシアにいたころ、生活の中でしか習得し

得なかつただろうと思ったもので、残念なことに今はほとんど忘れてしまっていたものだった。文法の復習ができたような気もするが、何より、忘れてしまっていた懐かしいロシア語表現をいくつも見つけ、読んでいたたび嬉しいう気持ちになった。アネクドートの魅力は面白さプラス、外国人学習者にとって生のロシア語に出会えるという点にあるのか、と今さら気付いた。そして著者がロシアのアネクドートの世界に惹かれる理由もそこにあるからこそ、他にもアネクドートにまつわる本が出されているのか！？と勝手に想像した。

この本について話は戻るが、初級文法復習編と中級文法実践編に分かれていて各編とも要点がおさえてあり、内容はとても充実しているので何度も読み返すことになりそうである。

とにかく数ページめくっていただければ、すぐに“読みやすさ”に気づくだろう。ロシア語で話す、書く、・・・何を目的にしても十二分に役立つ一冊。長い間、生のロシア語に触れておらず、自信をなくした学習者にはぜひ試しに、あえて“やる気”なく読み始めては・・・？きっと嬉しい発見がある一冊になることだろう。
(JIC 東京 F.Y.)

音楽大国ロシアに、 超新星オーケストラ誕生！

初来日！

ロシア・ナショナル・フィルハーモニー交響楽団 National Philharmonic of Russia ～ウラディーミル・スピヴァコフ(指揮、音楽監督・首席指揮者)～

ロシア・ナショナル・フィル プロフィール

芸術大国ロシアの新星国立オーケストラ。

2003 年、当時のロシア連邦大統領ウラディーミル・プーチンの命により、ロシア文化省による惜しみないサポートのもと、ロシアのトップクラスの演奏家が結集し設立された、新生ロシアのシンボルフィル。芸術監督および首席指揮者は V.スピヴァコフ。T.ザンデルリンク、M.ヤンソンスなどの巨匠、A.パッパノー、I.メツマツハー、D.ハーディングなど注目指揮者と共演。ソリストも G.クレームル、H.ハーン、P.ドミンゴ、J.カレーラスなど一流アーティストと共演。2004 年、ロシア・ツアーで国内での名声を確立。2006-07 年シーズンの 2 か月に及ぶアメリカ・ツアー、その後のヨーロッパ・ツアーで多大な関心と賛辞を集めた。

ロシア・ナショナル・フィル 2009 初来日ツアー詳細

- 6 月 12 日(金)サントリーホール(東京)
～お問合せ:コンサートイマジン 03-3235-3777
- 6 月 13 日(土)北上市文化交流センターさくらホール(岩手)
～お問合せ:ホール 0197-61-3300
- 6 月 14 日(日)大仙市大曲市民会館(秋田)
～お問合せ:ホール 0187-63-8766
- 6 月 16 日(火)ザ・シンフォニーホール(大阪)
～お問合せ:コンサートイマジン
- 6 月 17 日(水)愛知県芸術劇場
～お問合せ:コンサートイマジン
- 6 月 19 日(金)横浜みなとみらいホール 大ホール(神奈川)
～お問合せ:神奈川芸術協会 045-453-5080
- 6 月 20 日(土)長野県伊那文化会館
～お問合せ:ホール 0265-73-8822
- 6 月 21 日(日)グリーンホール相模大野(神奈川)
～お問合せ:財団法人相模原市民文化財団
(チケットムーヴ) 042-742-9999



主催 朝日新聞社、コンサートイマジン

詳細はこちらをご覧ください→ <http://www.concert.co.jp/>

ロシア語劇団 コンツェルト

三人姉妹 公演報告

2008 年 12 月 12 日(金)、早稲田大学学生会館 B202 に 80 名以上の人々がやってきた。そして午後 6 時。三人の美女にスポットライトが当たる――。

早稲田大学や東京外国語大学、埼玉大学などの学生を中心としたサークル、ロシア語劇団コンツェルトの定期公演『三人姉妹』が、12 月 12 日から 3 日間にわたって行われました。

公演 4 日前の朝 8 時。眠い目をこすりながらの舞台づくり。演劇サークルだからといって、上手く演技ができればいいだけではないのです。自分たちが上がる舞台、観客が座る客席、そして寒い中何日もかけて裏方がつくった扉、テーブル、



室内の絵…。舞台をつくりながら、木材や工具の名前も覚えま

す。
公演 3 日前。「ここはもっとこうした方がいいんじゃない?」「やっぱりこっちの方がいいよ。」等々…。

公演 2 日前。音響・照明の仕込みも完了し、舞台での稽古。舞台に立つと、また今までとは違った感覚になります。立ち位置や舞台袖での移動の仕方、声の飛ばし方。朝から晩まで練習します。

公演前日のゲネプロ。お客さんに感動を与えられるよう、最後の力入れです。明日は…本番!!

オリガ、マーシャ、イーナ。姉妹はモスクワで新しい生活を送ろうと希望に燃えるけれど、現実はその日を迎えることはない。しかし、その悲劇が私たちに何かを物語る――。

初日公演 81 名、第 2 回公演 67 名、第 3 回公演 72 名、千秋楽 106 名の計 326 名のお客さんを迎えることができました。『三人姉妹』はチェーホフの代表的な戯曲の 1 つでもあり、表現の仕方には悩んだり戸惑ったりしたことも。けれど、セリフを何回も読み込んだり、ベラルーシの演出家ナターリア・イヴァーノヴァ先生に挨拶の仕方やイスの座り方、登場人物の心情など細部に至るまでご指導していただくことにより、「人生」を生み出すことができたのではないかと思います。

「コンツェルトは家族。」私たちの合言葉になりつつあります。一人ひとりが助け合い、真剣に向き合う関係。本気で取り組むこ



とで強い絆で結ばれます。だからこそ乗り越えられた。だからこそやり遂げられた!「ロシア語で 2 時間以上の公演なんて凄い!」「初めて見たけど、学生なのに本格的で驚いた。」――お客さんを満足させ、自分も満足する。この目的は達成されました。

更に成長したロシア語劇団コンツェルトは、また次の公演に向けて歩み続けます。今年度の公演を見逃してしまった方、来年度は是非足をお運びください。団員一同…いえ、家族一同、心より歓迎いたします! (杉下 実和子)



JIC インフォメーションの電子化について

JIC では冊子版インフォメーションに加え、電子版インフォメーションの発行を進めたいと考えています。具体的にはメールアドレスをご連絡いただければ、PDF 形式でダウンロードできるように毎号発行時に案内メールをお送りいたします。

ご希望の方は、E-mail「jictokyo@jic-web.co.jp」にご連絡ください。件名を「インフォメーション」とし、①お名前、②ご住所、③お電話番号、④メールアドレス に電子版インフォメーション希望の旨を書き添えてお送りください。よろしくお願いいたします。

第59回

神戸市外国語大学語劇祭

ロシア語劇団 田邊 裕喜

昨年 12 月 20, 21 日の 2 日間、神戸アートビレージセンターにおいて第 59 回神戸市外国語大学語劇祭が行われました。この語劇祭というのは神戸外大の 5 つの学科が各学科の専攻語を用いて演劇をおこなうもので、この度 59 回目を迎える歴史と伝統ある催しです。各劇団ともたくさんの観客の前で最高のパフォーマンスを披露し、夏休みから時間をかけてつくりあげてきた自分たちの劇の出来ばえに大変満足そうでした。

さて今回、我々ロシア語劇団が劇の台本に選んだのはニコライ・ゴーゴリの「結婚 〜Женитьба〜」でした。ロシア文学通の方ならもちろんご存知のお話だと思います。ここ 2 年間おとぎ話を演じていたので、今回は喜劇に挑戦してみることにしました。あらすじは以下の通りです。

——結婚適齢期を迎えた 1 人の男がいました。名前はポドコローション。こいつは何をするにもぐずぐずするどうしようもない奴。ある日、彼のもとに足しげく通っている結婚仲介人のフォークラというばあさんが、いよいよとっておきの娘、アガーフィヤを紹介しにやってきます。なかなか重い腰が上がらないポドコローションですが、ちょうどそこに居合わせた彼の友人であるコチカリョーフという男がフォークラの仲介抜きで彼とアガーフィヤを結婚させてみせると言うのです。

ポドコローションとコチカリョーフがアガーフィヤ宅に到着すると、すでにそこにはヤイーシニツァ、アヌーチキン、ジェヴァーキンという 3 人の他の花婿候補たちが姿を見せていました。彼らもなんとかアガーフィヤを花嫁に迎え入れようと必死です。そこからコチカリョーフの策士ぶりが展開されていきます。アガーフィヤと 3 人の花婿候補たちにそれぞれ入れ知恵をしていくのです。入れ知恵に成功し、邪魔な 3 人を追い出したコチカリョーフはいよいよポドコローションとアガーフィヤを結婚させる段取りに入ります。ぐずぐずするポドコローションですが、なんとかプロポーズと誓いのキスを済ませ、あとは数時間後に迫った結婚式を待つのみとなります。ところが部屋に 1 人になった彼は再び結婚をぐずりだし、窓から飛び降りて馬車で逃げてしまうのです。

最後にまさかの結末が待っているこの物語ですが、キャストの配役を決めた時点で私たちが重要視したのは各登場人物のキャラクター設定でした。演劇をやる上においては基本

的なことなのですが、団員みんなに台本を読み込んでもらい、キャラクターをつくることから始まりました。

ポドコローション、コチカリョーフ、アガーフィヤといった主役級の人物のキャラは台本を読んで、ある程度できあがっていったのですが、特に僕らが力を入れたのはヤイーシニツァ、アヌーチキン、ジェヴァーキンのキャラ設定でした。この 3 人はいわば脇役。ゆえにさまざまなキャラの設定が可能で、最も遊べるおいしい役でした。そこで皆で試行錯誤しながら辿り着いた結果が、アガーフィヤの財産に目をつけてきたヤイーシニツァは堂々としていつも自信満々、周りは自分に及ばないと思っているキャラ。フランス語が話せる女性を花嫁に迎え入れたいアヌーチキンは、名前のチキン(=臆病者)が物語るように周りに常にびくびくして口数の少ない小心者キャラ。元海軍大尉を肩書きにして乗り込んできたジェヴァーキンは自分の自慢話をいつも周りに言いふらす、どうしようもなくうっとうしいキャラでした。



10 月中は日本語台本を用いて劇中の基本的な動き、話の全体の流れをつかむこと、そしてロシア語のセリフを覚えることに時間を割きました。この時期はなかなか練習に人数が揃わず、もどかしい日々が続きました。11 月に入ると、これが演劇初挑戦となる 1 年生にかなりの成長が見え始め、その月の終わりには劇自体もある程度の完成を見せてきました。12 月の頭から本番の日までは、ひたすら通し練習、細かい演技の修正を行っていきました。

そして本番当日。緊張する人、しない人、早く舞台に上がりたいくて仕方なさそうな人、メンバーのさまざまな思いが交錯しながら開演を迎えました。それから 2 時間後、たくさんの観客の温かい拍手をもらいながら僕らの劇は閉幕しました。結果は大成功。最高の劇が本番で披露でき、僕らは本番に強いんだということを証明しました。幕が閉じた瞬間に感動で涙を流す団員もたくさんいました。

今回は僕らの劇団が 5 つの劇団の中で最高の評価を受けることになりまして、最優秀劇団賞、最優秀男優賞、最優秀女優賞、優秀男優賞、字幕賞、照明賞、衣装・メイク賞と各賞を総なめ。この上ない形で第 59 回語劇祭を締めくくることができました。



この語劇祭は来年以降も続いていきます。興味が湧いた方、時間があれば、ぜひ 1 度足をお運びください。きっと満足されることと思いますよ。



第18回 創価大学創立者杯 ロシア語スピーチコンテスト

私たち創価大学ロシア研究会は、昨年 12 月 14 日に第 18 回創価大学創立者杯ロシア語スピーチコンテストを開催しました。当日は在日ロシア連邦大使館よりレオニード・A・ガムザ参事官が来学され、例年よりも多い 100 名以上の方がご来場くださいました。創価大学ではクラブ団体がフランス語、スペイン語、スワヒリ語、手話などの様々なスピーチコンテストを開催しており、私たちロシア研究会は今回で 18 回目を迎えることができました。

今回は大会テーマを「今こそロシアの時代(とき)！学び抜こう！語り抜こう！共にロシアを感じよう！」と掲げ、原稿テーマを「今、私がロシアに感じること」として、弁士のみなさんには「それぞれが感じるロシア」をスピーチしていただきました。一人一人の価値観や考え方は大きく異なり、生活環境が違えばなおさらです。たくさんの人の「自分が感じるロシア」に触れることで、それまでのロシアに対するイメージも少なからず変わるはずです。その「少し」を積み重ねていくことが大切だと考え、新たなロシアを感じていただきたいとの思いでコンテストを開催してまいりました。

エレメンタリー部門(ロシア語学習歴 2 年以下対象)参加者は 8 名。弁士のみなさんは、初めて訪れたロシアの印象・感想や出会った人々、ロシアへの先入観、ラフマニノフの音楽の魅力、などを語ってくださり、ロシア語を学んでロシアについてもっと知りたいという決意が込められていました。

スタンダード部門には 6 名の参加。そのうち 4 名が長期留学経験者(10 か月間)で、スピーチはもちろん、スピーチ後の質疑応答に対しても流暢で、審査員の先生方からは、前回よりもレベルが高まったとの講評をいただきました。オムスク州ガルブザ村での交流、流行からみるロシア人・日本人の国民性の比較、海外メディアで独裁者と批判されるプーチン前大統領に対しての考察、ウォッカをこよなく愛する思い、偏見や先入観が相互理解の障壁になっていることを実感した事件、自身の経験を通して得た「好き」「愛する」ことの意味、など多岐にわたる内容で「自分が感じるロシア」を語っていただきました。

優勝者には JIC さんから提供されたアエロフロートロシア航空の往復航空券が贈られました。入賞者のみなさんにもガムザ参事官からのプレゼントや副賞が贈られました。



2009 年度の大会テーマ・原稿テーマは 7 月頃に発表される予定です。参加要綱もテーマと同時期の発表となりますが(2008 年度はロシア語圏滞在歴 1 年未満の方に限定)、過去には学生以外にも社会人、主婦の方も参加してくださっています。ロシアを知り、ロシア語を学ぶことは大切です。そして、「語る」ことも同じくらい重要ではないでしょうか。みなさん語りましょう！一人でも多くの方のご参加をお待ちしております。

また、日本語字幕スクリーンを設置し、ロシア語がわからない方にも楽しんでいただけますので、お気軽にご来場ください！

創価大学 林 美穂



創価大学のスピーチコンテストには毎年おじゃましていますが、今回のスピーチコンテストはオープニングから驚きでした。

スクリーン&音響を使って大会テーマを巧みに表現し、場内の雰囲気をも「ロシア」にしてくれました。みなさんスピーチでのロシア語はしっかりと堂々としていて、伝えたいことやその内容により重きが置かれたレベルの高いものでした。

みなさんのスピーチからは緊張感や真剣さが感じられて、スピーチに聞き入ってしまいました。ロシアに対しての率直な感想や意見がとても興味深く、みなさん生き生きとスピーチされていて、とても輝いていました！学生たちによる運営も毎年大変なことだろうと思いますが、あのオープニングや、スピーチの日本語字幕など、新しい工夫もされていて素晴らしかったです。

みなさんもぜひ機会があれば聴きに行ってください！

(JIC 東京 柳沢 昭子)

ロシア・旧ソ連地域に 友達をつくりましょう!

★ペンパル情報★

① Name ② Sex ③ Born(Age) ④ Address ⑤ E-mail ⑥ Occupation, Hobby ⑦ Language

① **Katya** ② Female ③ 15 years old ④ Russia, Irkutsk ⑤ Katya_irk@mail.ru ⑥ I study Japanese language and I am interested in Japan. I like to listen to music, to walk and much that else. ⑦ Russian, English

① **Alexandra** ② Female ③ 1975 ④ Russia, Moscow ⑤ plyu6ka1@yandex.ru, akisame31@yahoo.com ⑥ music, pet, travel, computer etc. ⑦ Russian

① **Kasyanov Dima** ② Male ③ 1986 ④ Ukraine, Donetsk ⑤ korvin.work@gmail.com ⑥ music, literature, travel ⑦ English, Russian

① **Kulish Maria** ② Female ③ 1986 ④ Russia, Moscow ⑤ orangelali@mail.ru ⑥ Computer games, nature, reading, music, history, painting. ⑦ Russian, English

① **Matiyko Taisiya** ② Female ③ 1992 ④ Russia, Moscow ⑤ neconana@hotmail.com ⑥ anime, manga, cinema, fantasy, painting, poem. I study Asian culture. ⑦ Russian, English

① **Suslina Eru** ② Female ③ 1988 ④ Vladivostok, Russia ⑤ mercy881@gmail.ru ⑥ music, movies, art, travel, psychology ⑦ English, Russian

① **Ivanova Nastya** ② Female ③ 1992 ④ Scream543@yahoo.com ⑤ I am interested in many things...playing on bass guitar, study foreign languages. I am hip-hop and techno dancer. Please mail me! ⑦ English, Russian

① **Popolzin Ivan** ② Male ③ - ④ Russia, Hovokuznetsk ⑤ ivan.popolzin@pochta.ru ⑥ culture and people in Japan, anime, Japanese-pop and rock music, Japanese language. I like reading, poem, computer game, RPG, soccer, basketball ⑦ Russian, English

① **Balashova Ekaterina** ② Female ③ 1987 ④ Russia, Moscow ⑤ zombaka@index.ru ⑥ Painting, Travel ⑦ Russian

① **Anastasia Reznikova** ② Female ③ 1982 ④ Russia, St.Petersburg ⑤ nehast@mail.ru ⑥ music, Japanese modern ⑦ English, Russian, Japanese(Romaji)

① **Olga** ② Female ③ 30 years old ④ Russia, Hoginsk ⑤

ovena17@hotmail.com ⑥ I like reading, cinema, Japanese anime. ⑦ Russian

① **Samokhvalova Karolina** ② Female ③ 1986 ④ Russia, Orsk ⑤ karolina86-04@mail.ru ⑥ Japanese language and culture ⑦ Russian, Japanese

① **Turchinskiy Valeriy** ② Male ③ 40 years old ④ Russia, St.Petersburg ⑤ zazamot@mail.ru ⑥ I'm interested in Japanese culture and language. I just started to learn Japanese. I'm poet, write poems. I want to have pen friend who learn Russian or Ukrainian. ⑦ Russian

① **Ovchinnikova Julia** ② Female ③ 1989 ④ Russia, Omsk ⑤ dstudio.b@gmail.com ICQ:496436909 ⑥ I'm interested in design, pet, computer, travel, music, reading. ⑦ Russian, English

① **Zemskova Alisa** ② Female ③ 1989.7.19 ④ Russia, St.Petersburg ⑤ ll1989@mail.ru ⑥ I'm a student, like good cinema, reading, pet. ⑦ Russian

① **Piskunova Elizaveta** ② Female ③ 1993 ④ Russia, Nizhny Tagil ⑤ harumki@yandex.ru ⑥ Japanese culture, Korean culture, J-music ⑦ Russian, Japanese, English

① **Semyonova Nadezhda** ② Female ③ 1991 ④ Russia, Irkutsk ⑤ realmayer1@rambler.ru ⑥ Japanese culture, listen to music, reading, interesting cinema, painting, travel ⑦ Russian, English

① **Napadovskiy Byacheslav** ② Male ③ 1990 ④ Russia, Smolensk ⑤ napadovskiy@gmail.com ⑥ I like to play basketball and volleyball, anime, study Japanese culture ⑦ Russian, English

① **Denis** ② Male ③ 20 years old ④ Russia, Balakov ⑤ villain1234@yandex.ru ⑥ I'm a student of an institute of technology. ⑦ Russian

① **Demyanov Egor** ② Male ③ 1989 ④ Russia, St.Petersburg ⑤ kep_one@mail.ru ⑥ Graphical design ⑦ Russian, English, Japanese

① **Ipatova Oksana** ② Female ③ 1986 ④ Ukraine, Dnepropetrovsk ⑤ marta.buzhe@pochta.ru ⑥ I'm florist, I study English and Japanese language. Also I'm interested in Japanese culture. ⑦ Russian, English

① **Karabash Yulia** ② Female ③ 1986 ④ Russia, St.Petersburg ⑤ skybluneko@hotmail.com ⑥ I'm interested in history, reading, listening music, taking pictures, meeting with new people, learning English and Japanese. ⑦ English, Japanese (I'm a beginner)



◆◆編集後記◆◆

2~4月の予定

2月23日(月)JIC 春のロシア語短期グループ研修 出発
 3月 7日(土)長期留学4月生 事前説明会(東京・大阪)
 4月 上旬 JIC 長期留学生 出発
 4月 上旬 JIC 東京 日本語講座 1 学期スタート!
 4月 6日(月)JIC 東京 ロシア語講座 前期スタート!
 4月13日(月)JIC 大阪 ロシア語講座 前期スタート!

最新情報は JIC のホームページに
 随時掲載いたします。ご確認ください!



巷ではインフルエンザが流行っているようですが、みなさまはいかがでしょうか?

ここ数年間、ロシア語講座やロシア留学・研修についてのアドバイスをさせていただくことが増えたのですが、最近特に感じるのは、年配の方がとても熱心にロシア語を勉強なさっているということです。

ロシア語講座に出席してくださり、授業後も先生に作文を見てもらったり、質問をしておられたりする姿をよく目にします。またロシア語研修に行かれる方もずいぶん多くなりました。2, 3 週間の研修の場合もあれば、10 ヶ月間の長期留学に挑戦するという方も! 学生さんに混じって勉強すると刺激にもなるようです。学校によっては、50 歳以上の方のためのコースを設定している場合もあります。ぜひ今年はロシア語研修に挑戦してみてくださいね! (JIC 大阪 小西章子)

JICのロシア語研修

ロシア長期留学9月生・募集中

予価です!

【期間】2009年9月より10ヶ月

【締切】2009年6月15日

モスクワ大学 ¥495,000 (授業料 10 ヶ月)

サクトペテルブルグ大学 ¥472,000 (授業料 10 ヶ月)

ウラジオストク極東大学 ¥350,000 (授業料 10 ヶ月)

*上記の金額以外に別途、寮費、手配料、渡航費用、ビザ代金及び取得手数料などががかかります。



ロシア語個人研修(随時募集)

☆モスクワ・ダリパス社 1 週間~4 週間 (ホームステイ 2or3 食付)

☆モスクワ大学 3 週間~長期 (大学寮 1 人部屋)

☆G & R インターナショナル 1 週間~長期

(ホームステイ 2 食付/大学寮 2 人部屋)

☆ペテルブルグ・パートナー社 (ホームステイ 2 食付)

☆ペテルブルグ大学 1 ヶ月~長期

(大学寮 1 人部屋/2 人部屋)

☆ウラジオストク極東大学 1 週間~長期 (大学寮 1 人部屋)

☆ウラジオストク極東大学 1 週間~1 ヶ月 (ホームステイ 2 食付)

☆ビジット生活体験コース (ホームステイ 3 食付)

ロシア語グループ&個人研修(随時募集)

リデン&デンツ スイスの会社出資のロシア語学校。

個人・グループレッスン。モスクワとペテルブルグにあり、インターナショナルな雰囲気。初心者より上級者まで。2 週間より可能。基本はホームステイ 2 食付。詳細はパンフレットをご覧ください。



デルジャーヴィン・インスティテュート

全ロシアプーシキン博物館の協力により設立された学校で、18 世紀の建物内で授業が行われます。アットホームな雰囲気でお勧めです。グループレッスン、1 週間より可能。基本はホームステイ 2 食付。詳細はパンフレットをご覧ください。



◆ロシア留学旅行相談(東京・大阪各カ所)◆

ロシア留学・旅行のお問合せ・ご相談に応じます。お気軽にお越しください。

東京事務所 平日 10-18 時 土曜 10-16 時

大阪事務所 平日 10-18 時 土曜(6-9 月のみ) 10-16 時

留学・研修各種パンフレットは JIC へご請求ください。留学・旅行相談お気軽に!

~Jクラブ(JIC友の会)のご案内~

JIC インフォメーションを年 6 回、また JIC のイベント案内をもちろんお届けします。ご希望の方には入会案内をお送りいたしますので、ご連絡ください。会費は無料です。

国際親善交流センター